2025年度

環境経営レポート

®環境省
エコアクション21
認証番号 0003866

Vol.18



時代とともに　街とともに

TATEYOSI corporation

株式会社 建吉組

対象期間　：2025年4月～2026年3月
発 行 日　：2026年7月30日

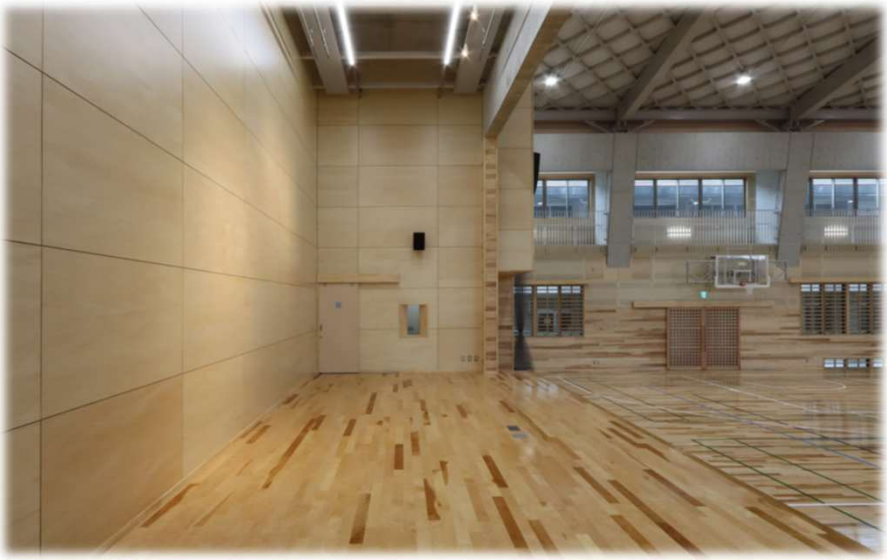


熊本市立花陵中学校 体育館

熊本市立花陵中学校の体育館改築工事は、老朽化した既存体育館の建替えを行い、安全性・機能性の両面から施設性能を向上することで教育環境の充実を目的として施工しました。より快適で使いやすい施設となるよう配慮し、最新の耐震基準に基づき、災害時においても安全に避難・利用できる空間を確保するとともに、地域の防災拠点としての役割を担います。

木の温もりが育む、学びと思い出の空間

体育館内は、木目調の壁と床で統一された内装にて温もりと落ち着きを感じさせ、体育館全体に明るく開放的な空間を創っています。日常の体育授業はもちろん、生徒たちの活動や発表を支える重要な空間となっており、学校生活の中で多くの思い出が育まれる場としても大きな役割を果たしています。



3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに

学習環境改善にて質の高い学びの場づくりに貢献

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

最新の耐震基準に基づく災害に強い公共インフラ整備、安全性と持続可能性に配慮した安心して暮らせる地域づくり

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

省エネルギーに配慮した設備と、健康的で快適に過ごせる環境づくりを両立し、心身の健やかな成長を促す空間の実現

11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任つかう責任

省エネ設備・再生可能な木材を利用した環境への配慮

表紙建物 ・・・ **熊本市立花陵中学校体育館改築工事**

構　　造 ・・・ **鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）**

竣　　工 ・・・ **令和８年３月１３日**

延床面積 ・・・ **1,221.02㎡**

設　　計 ・・・ **(株)ばん設計小材事務所**

木　　材 ・・・ **39.1 ㎥**

木材に係る炭素貯蔵量 ・・・ **34.4 t-CO_2**

目　次

1.事業概要 …… P.1

2.組織概要・対象範囲 …… P.2

3.課題とチャンス …… P.2

4.環境経営方針 …… P.3

5.環境活動の実施体制（2025年度・2026年度） …… P.4

6.環境への負荷実績・環境経営目標 …… P.5～8

7.2025年度環境経営計画の取組結果と評価 …… P.8・9

7-1.2026年度環境経営計画の取組内容 …… P.10

8.環境法規制遵守チェックリスト …… P.11

9.建設に係る環境関連法規への違反、訴訟等の有無 …… P.11

10.ＧＥＯパワーシステム …… P.12

11.年間行事（2025.4～2026.3） …… P.13～17

12.ＳＤＧｓの取組み …… P.18

13.会社の取組み …… P.19～22

14.2026年度の各部目標 …… P.23

15.代表者による全体評価と見直しの結果 …… P.24

1. 事業概要

- 商号　株式会社　建吉組
- 代表者　代表取締役　笹原 健嗣
- 所在地　本　　社　熊本県熊本市中央区坪井6丁目38番15号
  福岡支店　福岡県福岡市南区塩原3-26-18-704
  室園倉庫　熊本県熊本市北区室園町20-14
  合志倉庫　熊本県合志市野々島4420番3
- 創業　大正　　8　年　5　月　　1　日
- 設立　昭和　１９　年　４　月　１９　日
- 事業内容　建設工事の企画・設計及び監理、建築工事の施工
  不動産の賃貸及び所有管理
- 資本金　１億円
- 完工高　55億円(令和7年度)
- 社員数　72名
- 許可　建設業許可　国土交通大臣（特-4）第853号
- 登録　一級建築士事務所登録　熊本県知事　第100号
- 環境統括管理者　建築部 部長
- 環境管理担当者　総務部 総務課 主任
- 連絡先　TEL　096-343-1111　　FAX　096-345-6711
- ＵＲＬ　https://www.tateyosi.co.jp
- 認証登録範囲

事業活動	特定建設業(建築工事業、大工工事業、左官工事業、石工事業、とび･土工工事業、屋根工事業、管工事業、タイル･れんが･ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、防水工事業、熱絶縁工事業、建具工事業　解体工事業)
対象事業所	本社、福岡支店、室園倉庫、合志倉庫
認証範囲	全組織・全活動

2. 組織概要・対象範囲



3. 課題とチャンス

	課　題
外部	・同業他社との価格競争 ・世界情勢の変化による資材の高騰と納入遅延 ・CCUSの促進 ・協力業者の高齢化・担い手不足 ・労働力不足 ・気候変動と自然災害の増加
内部	・設計施工の提案力・特命受注率の向上 ・若手社員の定着率、育成 ・ベテラン社員による技術(ノウハウ)の継承 ・定期点検の実施 ・健康診断での有所見率の低減

	チャンス
外部	・自社の技術力の発信 ・顧客のニーズと期待に迅速・的確に対応 ・技能者の能力・経験等に応じた処遇改善 ・ICTを活用した生産性向上 ・社会的な環境配慮の高まり
内部	・生産性向上による利益率向上 ・DXの推進 ・技術(ノウハウ)による品質力の向上 ・企業価値の創出 ・ワークライフバランスの向上 ・個人の健康目標による健康意識向上

SDGs、ESG
・環境配慮設計・資材活用の促進 ・脱炭素の推進 ・確かな品質の追求 ・ブライト企業、健康経営優良法人の継続 ・協力業者育成支援 ・事業継続力強化計画認定の継続

KPI
・実施設計BIM、デジタルモックアップ等の提案によるお客様満足度の向上 ・技術系人材の多様性向上 ・建吉会青年部会での教育、研修 ・生成AIを活用した業務効率化を推進 ・企業品質の向上

4．環境経営方針

株式会社建吉組は地域環境の保全とその継承の重要性を認識し、建設業としての事業活動を通して、環境負荷の低減、持続可能な循環型社会の構築に貢献します。

次の環境経営方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地域の環境保全に貢献する企業を目指します。

1．弊社の業務運営に関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。

2．弊社に関連する環境関連法規制などの要求事項を遵守します。

3．顧客に対して環境に配慮した製品を提案し省エネに配慮した設計に努めます。

4．弊社の事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして取り組みます。

⑴ 二酸化炭素総排出量の削減
⑵ 産業廃棄物排出量の削減
⑶ 資源の節約
⑷ 環境配慮型資材・製品の選定
⑸ 地域貢献
⑹ 化学物質の適正管理
⑺ 環境教育への取組
⑻ 経営における課題と機会を踏まえる

5．すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境経営方針を全従業員及び協力会社に周知し社外にも公開します。

上記の方針達成の為に目標を設定し定期的に見直し環境活動を推進します。

2008年6月1日　制定
2025年4月1日　改訂

株式会社　建 吉 組
代表取締役　笹原 健嗣



5. 環境活動の実施体制　– 2025年度・2026年度 -



順　位	主な責任と権限
代表取締役	環境経営方針の制定と、EA21環境マネジメントシステムの統括 環境統括管理者の任命 取組状況を評価し全般的な見直しの実施及び指示 環境活動への取組を適切に実行するための資源（人・物・金）の承認
環境統括管理者	代表者より委任を受け環境経営システム全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 環境経営計画の策定及び進捗管理を代表者へ報告 環境関連法規の取りまとめと評価及び環境経営レポートの確認と公表
環境管理担当者 （事務局）	環境経営における事務局としての環境統括管理者の補佐 環境活動における決定事項を社員全般への伝達及び環境活動記録の取りまとめ 環境上の外部コミュニケーション窓口 内部監査の実施
SDGs委員会	環境経営の事務所・現場における記録と事務局への報告 社内におけるSDGs活動の推進 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告 環境関連法規の取りまとめ及び環境経営レポートの作成、環境統括管理者への報告
社　　員	環境経営方針、環境目標に沿った環境活動の展開 SDGs活動における改善点の提言

6．環境への負荷実績・環境経営目標

事務所

CO_2総排出量・電力・ガソリン他

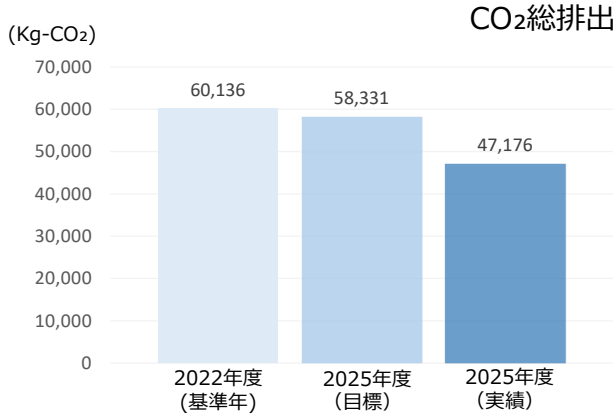
評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

項目	2022年度(基準年)	2025年度				
	実 績	目 標 (-2%削減)	実 績	前年比	達成度	評 価
CO_2 総排出量※	60,136 kg-CO_2	58,331 kg-CO_2	47,176 kg-CO_2	-5%	124%	A
ガソリン	6,796 ℓ	6,592 ℓ	3,911 ℓ	+2%	169%	A
軽油	7,839 ℓ	7,603 ℓ	3,461 ℓ	-36%	220%	A
電力	62,298kWh	60,429kWh	72,571kWh	+5%	83%	B

※CO_2総排出量 … ガソリン・軽油・灯油・電力の各CO_2排出量の合計
※電力のCO_2排出量は2022年度九州電力㈱調整後排出係数(0.382kg-CO_2/kWh)にて計算。基準年度も同係数に換算し計算。

中期目標			
項 目 (基準年比)	2024年度 (-2%削減)	2025年度 (-3%削減)	2026年度 (-4%削減)
CO_2 総排出量	58,933 kg-CO_2	58,331 kg-CO_2	57,730 kg-CO_2
ガソリン	6,660 ℓ	6,592 ℓ	6,524 ℓ
軽油	7,682 ℓ	7,603 ℓ	7,525 ℓ
電力	61,052 kWh	60,429 kWh	59,806 kWh

CO_2総排出量



水・紙・地域貢献・グリーン購入

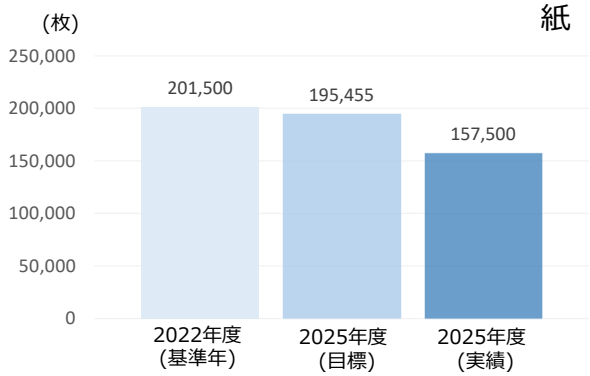
評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

項目	2022年度(基準年)	2025年度				
	実 績	目 標 (-2%削減)	実 績	前年比	達成度	評 価
水資源	56㎥	54㎥	51㎥	-41%	106%	A
紙	201,500枚	195,455枚	157,500枚	+5%	124%	A
地域貢献	6回	6回	6回	±0%	100%	A
ｸﾞﾘｰﾝ購入※	45%	60%以上	52.9%	-2%	113%	A

※(ｸﾞﾘｰﾝ購入)=(ｸﾞﾘｰﾝ購入法対象数)÷(事務用品購入総数)×100にて算出

中期目標			
項 目 (基準年比)	2024年度 (-2%削減)	2025年度 (-3%削減)	2026年度 (-4%削減)
水資源	54㎥	54㎥	53㎥
紙	197,470枚	195,455枚	193,440枚
地域貢献	6回	6回	6回
ｸﾞﾘｰﾝ購入	55%以上	60%以上	65%以上

紙



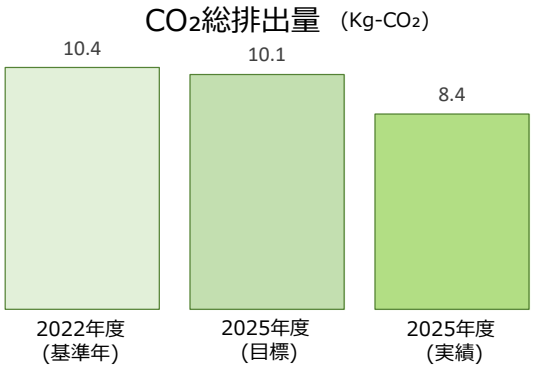
現場

CO_2総排出量

完成工事高百万円あたり[実数]　　評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

項目	2022年度(基準年)	2025年度				
	実 績	目 標(-2%削減)	実 績	前年比	達成度	評 価
CO_2 総排出量	10.4 [34,867] kg-CO_2	10.1 kg-CO_2	8.4 [44,989] kg-CO_2	-23%	121%	A

中期目標			
項 目(基準年比)	2024年度(-2%削減)	2025年度(-3%削減)	2026年度(-4%削減)
CO_2 総排出量	10.2 kg-CO_2	10.1 kg-CO_2	10.0 kg-CO_2



水・紙・地域貢献・グリーン購入

評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

項目	2022年度(基準年)	2025年度				
	実 績	目 標(-2%削減)	実 績	前年比	達成度	評 価
水資源	318㎥	308㎥	401㎥	-57%	77%	B
水資源(特殊工事)※2	—	—	770㎥	—	—	—
紙	112,500枚	109,125枚	130,500枚	-16%	84%	B
ｸﾞﾘｰﾝ購入※1	32.0%	47%以上	38%	-5%	81%	B
化学物質の適正管理	適正管理	ホルムアルデヒド発散建材料の受入検査記録を適正に管理しました。				A

※1 ｸﾞﾘｰﾝ購入=(ｸﾞﾘｰﾝ購入法対象数)÷(事務用品購入総数)×100にて算出
※2 特殊工事＝工事の特性上、水使用量の抑制が困難な工事

中期目標			
項 目(基準年比)	2024年度(-2%削減)	2025年度(-3%削減)	2026年度(-4%削減)
水資源	311㎥	308㎥	305㎥
紙	110,250枚	109,125枚	108,000枚
ｸﾞﾘｰﾝ購入	42%以上	47%以上	52%以上
化学物質の適正管理		適 正 管 理	



▲地域貢献活動の一つで、現場事務所近隣を住民の方々が過ごしやすい環境で生活していただけるように清掃活動を続けています。

産業廃棄物の再資源化率

評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

項目	2022年度(基準年)	2025年度			
	実 績	排出量	目 標	実績	評 価
アスファルトがら	100%	196.36 t	99%以上	100%	A
コンクリートがら	100%	882.51 t	99%以上	100%	A
建設発生木材	100%	36.68 t	97%以上	100%	A
汚泥	—	5.7 t	90%以上	100%	A
建設混合廃棄物	69.0%	160.64 t	63%以上	82.9%	A

※産業廃棄物の再資源化率対象項目は上記の通り。
産業廃物全体の再資源化率は92.1%



▲ 産業廃棄物に関しては
混合廃棄物処理ではなく、
細かくフレコン等を使い分別し、
産業廃棄物で処理しています。

中期目標（再資源化率）			
項 目	2024年度	2025年度	2026年度
アスファルトがら	99%以上	99%以上	99%以上
コンクリートがら	99%以上	99%以上	99%以上
建設発生木材	97%以上	97%以上	97%以上
建設汚泥	90%以上	90%以上	90%以上
建設混合廃棄物	63%以上	63%以上	63%以上

廃棄物の適正処理とリサイクルの推進





事務所でも ▶
2020年11月より
一般ごみの計量を
開始！
現在も継続して実
施しています。



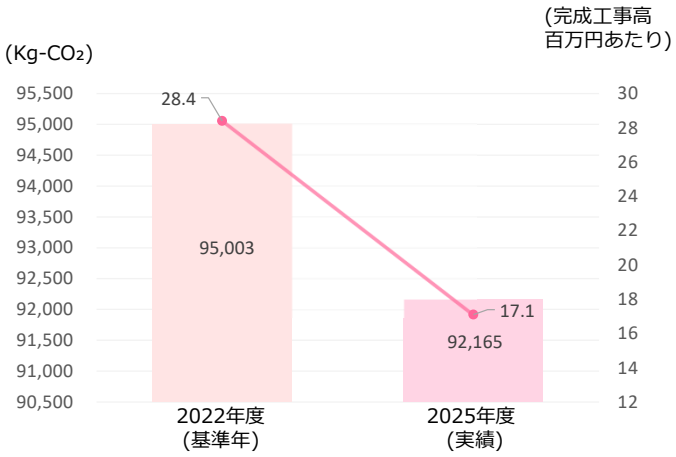
一般ごみ(事務所)			(kg)
項目	2024年度	2025年度	前年比
燃えるゴミ	395.0	391.5	-3.5
シュレッダーゴミ	113.8	167.3	53.5
新聞・雑誌	267.5	347.1	79.6
段ボール	170.4	115.4	-55.0
ペットボトル	60.6	61.1	0.5
缶	16.7	21.3	4.6

会社全体

CO_2総排出量

CO_2総排出量
(完成工事高百万円あたり)

項目	2022年度(基準年)	2025年度
	実 績	実 績
CO_2 総排出量	95,003 (28.4) kg-CO_2	92,165 (17.1) kg-CO_2



※会社全体CO_2総排出量…事務所･現場のCO_2総排出量の合計
2023年度：事務所 55,437kg-CO_2、現場 91,804kg-CO_2
2024年度：事務所 49,425kg-CO_2、現場 34,598kg-CO_2
2025年度：事務所 47,176kg-CO_2、現場 44,989kg-CO_2

7．2025年度環境経営計画の取組結果と評価

重点項目	主な取組み内容	評価	取組み結果
CO_2排出量の削減	【事務所】 ・地中熱基礎空調及び省エネ改修工事の推進活動 ・導入しているGEOパワーシステムを活用し、冷暖房の空調負荷を軽減 ・社有車を購入する際は燃費重視の車を選定 ・EV車の利用 ・太陽光発電によるEV車の充電利用 ・オンライン会議を積極的に利用し、移動による労働時間とCO_2排出やエネルギーの削減 【現場】 ・冬場の暖房器具は室内温度25度を目処に調節する ・使用していない重機はエンジンを止め、CO_2削減に努める	【事務所】 A 【現場】 A	事務所・現場ともに目標を達成することができました。 今年度より、地中熱を利用したGEOパワーシステムの常時稼働に切り替えるとともに、空調機の稼働時間を見直した結果、CO_2排出量の削減につなげることができました。引き続き、DX化による省エネルギー化を進め、更なるCO_2排出量の低減に努めていきます。
総排水量の削減	【事務所・現場】 ・自動ストップ機能付きの水栓を利用し、出る水量を削減 ・蛇口の水圧を調整して、出る水の量を削減 ・蛇口付近に節水シールを貼り、注意喚起 ・水道施設がない場所では、雨水タンクを利用する。1日に使用する水量を決め、節水に努める	【事務所】 A 【現場】 B	目標を達成したのは事務所のみとなりました。節水に努め、水使用量の削減に取り組みましたが、工事の特性上、水使用量の抑制が困難な現場もあり、節水効果が十分に得られない状況でした。今後も作業者の健康と安全の確保との両立を図りながら、水使用量の削減に取り組んでまいります。
紙資源の節約	・古紙(新聞・雑誌・コピー用紙・カタログ等)の分別回収を行う ・ミスプリント用紙は裏紙として再利用 ・電子メディアを利用し、ペーパーレス化を推進	【事務所】 A 【現場】 B	目標を達成したのは事務所のみとなりました。現場は年度の紙使用量を下回りましたが、目標達成とはなりませんでした。工事現場数に合わせて増加するため難しい面もありますが、今後も地道な活動の継続により資源節約を目指します。

重点項目	主な取組み内容	評価	取組み結果
地域貢献活動	【事務所・現場】 ・ペットボトルのキャップを回収し、ワクチン接種等、途上国支援に充てる ・県道：熊本菊鹿線(中央区黒髪)年2回の清掃活動を実施 ・社員及び協力業者と福祉施設等を訪問し、清掃活動を実施(企業ボランティア　年1回) ・設立記念日に本社構内で献血活動 ・フードドライブへの参加（地域の福祉団体や施設） ・募金式自動販売機設置 ・こどもひなんの家を設置 ・建築協会主催の清掃・献血活動への参加 【現場】 ・現場事務所近隣での定期的な清掃活動を実施	A	前回から、ペットボトルキャップの回収について、事務所・現場に加えてテナントへの周知も行い、活動の輪が広がりました。その結果、昨年に比べて回収数が1.2倍増加しました。 フードドライブはテナントや協力会社等、多くの方々にお声かけし、前回の3.1倍の食品が集まりました。 就労支援事業所によるパン移動販売を受け入れ、就業支援に協力しました。 また、現場では週1回程度、近隣道路などの美化活動にも取り組みます。
グリーン購入	【事務所】 ・事務用品等はエコ情報マーク製品を優先して購入する ・詰替え商品・リターナブル容器入りを購入する(筆記用具・洗剤・ソープ等) ・設計において、グリーン購入法適合商品(省エネラベル・エコマーク・グリーンマーク)の資材・設備等を１物件1件以上提案し、環境配慮設計に努める 【現場】 ・文房具は持ち回りをし、詰め替え出来る商品を購入する ・購入担当者である本社総務課で商品を選定し、グリーンマーク商品を優先して購入する	【事務所】 A 【現場】 A	今年度は、事務所・現場ともに目標を達成することができました。事務所ではエコ情報マーク製品を推進し、設計ではグリーン購入法適合商品の提案を継続したことが目標達成につながりました。 今後も環境負荷の低減を意識した商品選定を継続し、取り組みを継続します。
化学物質の適正管理	【現場・合志・室園倉庫】 ・ホルムアルデヒド発散建材料の受入検査記録を適正に管理する。 ・保管庫の表には「火気厳禁」の表示、中には「物質の分類・量」を表示して明確にする ・保管庫は施錠し厳重に管理する ・4S(整理・整頓・清掃・清潔)の徹底	A	ホルムアルデヒド発散建材料については、内装・塗装工事での「F☆☆☆☆」製品の使用と受入検査記録の適正管理を徹底しました。また、教育施設や事務所等の竣工時には指定場所での化学物質濃度測定を実施し、安全性を確認しました。保管庫についても、「火気厳禁」や「物質分類・量」の表示、施錠管理および4Sの徹底を内部監査時に確認し、適正な運用を完了しました。
産業廃棄物排出量の削減	【現場】 ・廃棄物の排出削減 ・廃棄物管理票（マニフェスト）に基づき適正に処理する ・建設副産物（産業廃棄物）を品目ごとに分別・保管し、再資源化率の向上を図る	A	マニフェストに基づく適正処理を徹底するとともに、現場での品目別分別・保管を講じた結果、廃棄物排出量の削減および再資源化率向上など、すべての取組項目において目標を達成しました。今後も使用材料の口ス削減等を工夫し、継続して再資源化率の向上に努めます。



評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

※F☆☆☆☆…ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを発散する可能性がある材料に付される、発散量を示す等級の最上位規格

7 -1. 2026年度環境経営計画の取組内容

重点項目	主な取組み内容
CO2排出量の削減	【事務所】 ・地中熱基礎空調及び省エネ改修工事の推進活動 ・導入しているGEOパワーシステムを活用し、冷暖房の空調負荷を軽減 ・社有車を購入する際は燃費重視の車を選定 ・社有車によるエコドライブの実施 ・事務所改修時の環境配慮型及び木質化の検討 【現場】 ・冬場の暖房器具は室内温度25度を目処に調節する ・Web会議促進による車両移動を減らし、CO_2削減に努める ・省エネ型・ハイブリッド型の建設機械の使用
総排水量の削減	【事務所・現場】 ・自動ストップ機能付きの水栓を利用したり、蛇口の水圧を調整して出る水量を削減 ・蛇口付近に節水シールを貼り、注意喚起を行う ・水道施設がない場所では、雨水タンクを利用する。1日に使用する水量を決め、節水に努める
紙資源の節約	・古紙(新聞・雑誌・コピー用紙・カタログ等)の分別回収を行う ・ミスプリント用紙は裏紙として再利用、社内で用紙の利用の際は複数（4ページ）を1枚で印刷する ・書面の電子化 ・ICTを活用し、ペーパーレス化・業務効率化に努める
地域貢献活動	【事務所・現場】 ・ペットボトルのキャップを回収し、ワクチン接種等、途上国支援に充てる ・県道：熊本菊鹿線(中央区黒髪) の清掃活動を実施（年4回） ・社員・協力業者と施設を訪問し、清掃や花壇の整備（球根植付）等を実施(年１回 企業ボランティア) ・設立記念日に本社構内で献血活動 ・就労支援事業所によるパン移動販売を受け入れ、就業支援に協力 ・フードドライブへの参加 ・募金式自動販売機設置 ・こどもひなんの家を設置による地域安全への協力 ・建築協会の清掃・献血活動への参加 【現場】 ・現場事務所近隣の清掃活動を実施 ・災害時ボランティア活動への参加
グリーン購入	【事務所】 ・事務用品等はエコ情報マーク製品を優先して購入する ・詰替え商品・リターナブル容器入りを購入する（筆記用具・洗剤・ソープ等） ・近隣挨拶時にはオリジナルトイレットペーパーを配付 ・設計において、デザインレビュー時と設計仕様書にグリーン購入法適合商品(省エネラベル・エコマーク・グリーンマーク）及び環境配慮資材・材料・設備等を1物件1件以上提案を記載し、環境配慮設計に努める 【現場】 ・環境配慮型資材の優先調達、リサイクル材など、グリーン購入法適合の建設資材の採用を検討する ・現場員は、再生PET繊維50%以上の作業服を着用
化学物質の適正管理	【現場・室園倉庫・合志倉庫】 ・ホルムアルデヒド発散建材料の受入検査記録を適正に管理する ・保管庫は運用・消防法遵守のため、保管品目と数量の洗い出し、届出・許可の要否確認、保管庫本体の仕様確認、掲示物と消火器の配置を実施する ・保管庫は施錠し、厳重に管理をおこない、管理責任者を明確にする ・4S(整理・整頓・清掃・清潔)の徹底
産業廃棄物排出量の削減	【現場】 ・廃棄物の排出削減 ・廃棄物管理票(マニフェスト)に基づき適正に処理する ・建設副産物（産業廃棄物）を品目ごとに分別・保管し、再資源化率の向上を図る ・仮設資材の再利用や余剰資材の他現場への転用

8. 環境法規制遵守チェックリスト

2025年4月1日　改訂

主な環境法規制等	届出、作業等	遵 守 事 項
廃棄物処理法	・産業廃棄物の委託処理	・委託基準 1.委託先の許可確認 2.委託契約の締結 3.契約書の5年間保存
	・廃棄物の処理 ・特別管理産業廃棄物管理責任者	・マニフェストの交付 1.交付義務 2.回収・照合(発行後B2,D票90日、E票180日以内) 3.保管(5年間) 未回収戻り票の報告 「交付状況報告」
	・排出事業所、排出報告の届出、 多量排出事業者計画届出	・積み上げ高さの厳守、雨、風、悪臭発生に対する養生、 保管場所の掲示板設置 ・知事・市長へ届出(届出期間、様式は条例等規定)
建設リサイクル法	・解体工事-80㎡以上 ・新築・増築工事-500㎡以上 ・修繕・模様替工事-1億円以上 ・その他の工作物に関する工事(土木工事等)-500万円以上	・発注者への書面による計画等説明 ・工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届出、発注者へ書面による完了報告 ・再資源化等の促進・分別解体等・再生資源の使用
騒音規制法	・杭打ち機、ブレーカー、空気圧縮機等を使用する作業	・建設予定地の市町村へ7日前までに届出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下
振動規制法	・杭打ち機、杭抜き機、ブレーカー、舗装版破砕機を使用する作業	・建設予定地の市町村へ7日前までに届出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下
下水道法	・公共下水道への排水	・公共下水道管理者にあらかじめ届出 ・排水基準(有害物質は排水基準を定める総理府令) 生活環境項目は条例による。
フロン排出抑制法	・解体工事(改修工事)	・解体前にフロン類機器設置有無を確認、発注者に書面説明 ・第1種特定製品管理者は当該フロン類機器を第1種フロン類充填回収業者に引き渡さなければならない ・機器の廃棄を委託された場合「委託確認書」の回付と保存及びフロン類充填回収業者の「引取証明書」の受理と写しの保存(3年間)
建築物省エネ法	・建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律	・建築確認済証発行前までに指定検査機関へ適合判定書を申請、許可が必要 ※令和7年4月より用途により基準値引き上げ 平屋かつ200㎡以下、仕様基準による住宅以外は必要
石綿障害予防規則	・石綿含有の有無の事前調査 ・解体部分の延床面積-80㎡以上	・解体・改修工事を行う際、係る部分の全ての材料について事前調査が必要 ・事前調査結果は３年間保存 ・一定規模以上は事前調査結果を労働基準監督署へ提出
	・改修工事の請負金額-100万円以上	・一定規模以上は事前調査結果を労働基準監督署へ提出
消防法	・危険物の貯蔵 ・取扱い、消防用設備等の設置	・指定数量以上の危険物を取扱う場合の許可・届出、消防用設備等の設置および定期点検・報告
建築基準法・労働安全衛生法（ホルムアルデヒド規制）	・内装工事（建材使用） ・特定化学物質の取扱い	・内装仕上げの建材制限（F☆☆☆☆等の確認）、換気設備の設置、作業環境測定の実施（取扱う場合）

9. 建設に係る環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規制の遵守状況をチェックしたところ、違反は有りませんでした。

また、現時点まで関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟についても問題ありません。

10. ＧＥＯパワーシステム

Geothermal　… 地中熱利用
Economical　… エコで経済的
Oasis　… 癒しとくつろぎ

GEOパワーシステムは、地中熱を活用して建物全体を緩やかに空調し、冷暖房の負荷を軽減する２４時間換気システムです。

地中熱とは

地中に蓄えられた自然の熱エネルギーで、年間を通じて安定した温度を保ちます。 **GEO**パワーシステムは、地下約５～7.5mの温度を利用し、外気のように大きな変化がないため、夏は涼しく、冬はほんのり温かい空気を建物に取り入れることができます。

▼本社に隣接する体感ハウス



▼体感ハウスの実際の温度計の様子



補助金情報

経済産業省所管の「令和７年度補正予算　省エネ・非化石転換補助金」において地中熱スポットエアコンが認定されています。

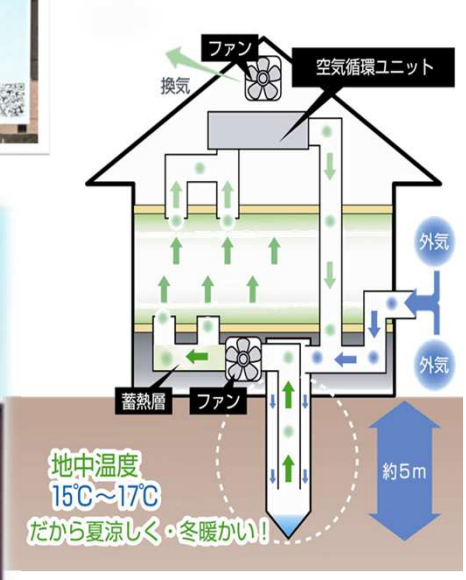
補助率は条件に応じて**33%～50%**となっており、

導入コスト削減が期待できます。

※公募期間内に限ります。

詳細はこちらから▶
ご確認下さい。
【QRｺｰﾄﾞ】

導入メリット



- 温室効果ガスの排出抑制
- ランニングコストの削減
- 体に優しい自然に近い温度での空調
- 空気浄化機能
- 環境教育、企業の社会的責任（CSR）
- 補助金によりイニシャルコスト削減が可能なケースあり
- 節電対策

この温度差が快適さの理由です！

今こそ『自然の力』を
暮らしに取り入れてみませんか。



施　工　例



社内でも地中熱を利用し、自社の省エネ化を進めています。



教育施設にて増設工事を行いました。（2024年）

11. 年間行事（2025.4～2026.3）

設立記念献血

2025.5.15



71名の方に
ご協力頂きました





美化ボランティア

2025.4.24 & 10.29



地域環境の保護を目的として、春と冬の年に２回、本社周辺の清掃活動を行っております。





往復1.2ｋｍの歩道と側溝付近のゴミ拾いや草取りを行いました。
参加者で協力し、綺麗にすることができました。

防災訓練

2025.5.28〈水害〉

土のう作り、土のう積み、水中ポンプ・発電機・バルーン照明機の操作訓練を実施しました。
災害時に必要な機材の操作を一人でも行えるよう訓練しています。







土のう作り



土のう設置訓練



水中ポンプの操作訓練

キキクルや
ハザードマップで稼働
現場付近で浸水箇所が
ないか確認しました。



2025.9.10

9月11日に防災訓練を予定していましたが、前日に大雨が発生したため警戒本部を立ち上げました。





建吉組安全大会

2025.6.2



安全大会



優良作業所や優良協力業者の表彰を行っています。

EA21更新審査

2025.9.3～9.4







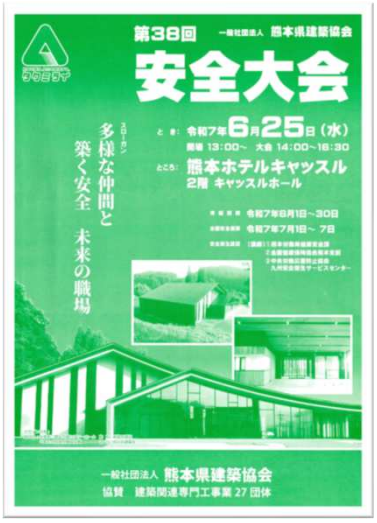
現場と研修センターの審査では、審査員より高い評価をいただきました。
審査後は、改善点や来年度の取り組みについて話し合いをおこないました。

(一社)熊本県建築協会安全大会

2025.6.25

(一社)熊本県建築協会主催の第38回安全大会へ社員25名、協力会社62名が参加しました。

今後も、社員全員が安全の担い手であるという意識を持ち、継続的な安全管理の強化に取り組んでまいります。



安全週間

2025.7.1～7.7

7月1日(火)	趣旨徹底の日 安全祈願祭
7月2日(水)	総点検の日
7月3日(木)	パトロールの日
7月4日(金)	安全教育の日
7月5日(土)	休養の日
7月6日(日)	安全の日
7月7日(月)	反省の日



安全祈願祭



使用機器の点検



作業設備・作業環境等の点検・設備の実施

安全パトロールで見つかった安全指示事項にはすぐに対応し、改善しています。

社員研修旅行（大阪万博1泊2日の旅）

2025.6.12～13
2025.6.19～20

2班に分かれて大阪万博、安藤忠雄展など訪れ、現地の建築物を見学しました。

「こども本の森 熊本」を設計・寄贈された安藤忠雄氏の展示会を見学。
青春をテーマとした青りんご。1969年からの半世紀にわたる挑戦、230点のスケッチ、図面、模型を通じた約60作品。氏の挑戦心と建築への情熱を肌で感じ、充実した時間を過ごしました。

うめきた公園ﾉｰｽﾊﾟｰｸVS.[安藤忠雄展]









「こども本の森 熊本の模型」





竹中大工道具館

日本で唯一の大工道具専門博物館で伝統建築や木工の技術・道具が展示。
縄文時代から昭和までの大工道具を実際に手に触れて材質や使用感を体験しました。



大屋根リング





大阪EXPO2025

大阪万博では世界各国のパビリオンや最先端技術を見学。
万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を体感することができました。

スポーツイベント

社員の健康促進を目的として、参加者を募り月に数回スポーツイベント行っています。







本社付近の1周約1.2ｋｍの
ウォーキングコースを2周して
汗を流しています。
2.4ｋｍのウォーキングで
平均3,700歩です。

また、敷地内にあるトレーニング
ルームで昼休みや終業後に運動を
しています。